

出席者：小俣サ、寺尾、日向、平井、広木、前土肥

1. 活動記録(前回世話人会(11月18日以降))

11月18日(金) 世話人会 14:00～16:00

12月3日(土) Silent Standing 14:00～15:00 @狛江駅北口広場(広木、和田、小俣マ、桑野、小俣サ、西尾、石川、前土肥、須貝)署名1筆



12月9日(金) 九の日行動 15:00～16:00 @狛江駅北口広場(西尾、大久保、土建など20人参加、署名24筆)「赤紙」を配った。Face Bookで「いいね」が多数寄せられていた。言いがかりをつける人がいた。

2. 憲法をめぐる最近の情勢

◇軍事費増大

岸田文雄首相が「防衛費増大」に向けた増税検討を指示したことに対し、政府与党内で反発が広がっている。防衛力強化の内容を明らかにしないまま、増税論議を先行させるのは極めて異常だ。

首相は防衛費と関連予算の総額を2027年度に国内総生産(GDP)比2%に増やすよう指示した。約1%に当たる22年度の5兆4千億円から倍増だ。23年度から5年間の防衛費を総額約43兆円とし、27年度以降に必要となる年4兆円のうち1兆円強を増税で賄う方針も表明した。

岸田政権は与党税制改正大綱と国家安全保障戦略など三文書の週内決定に向けて議論を急ぐが、首相指示からわずか1週間で増税を決めるのはあまりにも乱暴だ。(12月16日閣議決定の予定)

混乱の原因は、敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有など安保政策の大転換を国会での十分な議論を経ずに決め、防衛費増額も「金額ありき」で進めたことにある。

◇「平和構想提言会議」が安全保障政策の対案を提起する予定。

政府が敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有を含む防衛力強化の方針を週内にも決定しようとしているのに対し、懸念を強める憲法や国際政治の専門家らがグループを立ち上げ、対案となる提言の準備を進めている。安全保障政策の大転換に警鐘を鳴らし、武力によらない道筋を国民の選択肢として提起するのが狙いだ。グループは「平和構想提言会議」。有志15人が10月に設立し、共同座長に学習院大の青井未帆教授(憲法学)、核廃絶や軍縮の活動に取り組む非政府組織(NGO)「ピースボート」の川崎哲共同代表が就任した。提言は、政府が改定を目指す「国家安全保障戦略」など3文書の対案と位置づけ、近く発表して国民を巻き込んだ議論を喚起したい考えという——と「東京」。平和構想提言会議 提言発表・公

開会議は 15 日(木) 16:00～18:00 から。下に詳しい内容。問い合わせは shudantekijjeiken@gmail.com

平和構想提言会議 メンバー

青井未帆(学習院大学教授)※ 秋林こずえ(同志社大学大学院教授) 池尾靖志(立命館大学) 内海愛子(恵泉女学園大学名誉教授) 岡田充(ジャーナリスト) 川崎哲(ピースボート共同代表)※ 君島東彦(立命館大学教授) 清末愛砂(室蘭工業大学大学院教授) 佐々木寛(新潟国際情報大学教授) 申恵丰(青山学院大学教授) 杉原浩司(武器取引反対ネットワーク(NAJAT)代表) 谷山博史(日本国際ボランティアセンター(JVC)前代表理事) 中野晃一(上智大学教授) 畠山澄子(ピースボート) 前泊博盛(沖縄国際大学教授) (計 15 名、敬称略、50 音順)

- ・日本を占領しても良いことは何もない。(資源もない、食料も輸入に頼っている。)
- ・米軍がいることがリスクになっている。

◇世論調査(NHK12月9～11日実施)

内閣支持率 支持 36%(-2) 不支持 44%(+3)

◇総がかり行動 12月15日 参加者 800人 12月15日(木)18:30～

敵基地攻撃能力保有許すな！軍拡反対！軍事費倍増反対！閣議で勝手に決めるな！

「安保関連3文書」閣議決定反対 12・15 国会議員会館前緊急行動

場所:衆議院第2議員会館前を中心に

主催:戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲 NO！全国市民アクション

3. 憲法改悪阻止の取り組み——全国的な活動 (下記6参照)

・9条改憲 No！改憲発議に反対する全国緊急署名 継続中

4. 当会としての今後の取り組み

①Silent Standing 1月3日(火)中止 2月3日(金)14:00～15:00

②「改憲発議に反対する全国緊急署名」運動

九の日行動

1月9日(月・休)15:00～16:00 @狛江駅北口広場

狛江市の成人式があるが、過去に成人たちは“同窓会”気分になってこちらの呼びかけにはほとんど反応を示さなかったの、特にこれに合わせて行動をすることなく、いつもの時間で実施する。

③当会の今後について

企画:・学習会

講師:半田滋さん

3月19日(日)18:30～20:30 市民センター第4会議室 (定員は20名となっているが、これは会議をする場合の人数なので、椅子を並べるだけならば50人くらいは入れられると考える。)

希望するテーマについて ・安保関連3文書改訂について ・トマホーク等武器の詳細など

⇒「~~ウクライナ戦争を受けての日本の安全保障政策~~」(仮題)で打診中

「戦争を起こさせないことはできるの？～外国からの脅威があると言われるが～」で打診する。

講師謝礼金は、3万円を提示した。交通費実費(1080円)を要望された。

交通費として 2000 円プラスする。

参加費は 500 円とする。

役割分担

前日までの役割	担当者	当日の役割	担当者
講師との連絡	小俣サ	会場設営指示	前土肥、平井
チラシ作成	小俣サ	会場機器設営	日向
チラシ配布態勢計画	広木	プロジェクター操作	日向
ポスター作成 宛て名シール作成	小俣サ	受付・会計(筆記具・釣銭)	寺尾
プログラム作成		消毒液・体温計設置	
受付名簿用意		筆記具	
釣銭用意	寺尾	舞台看板掲出	前土肥、平井
公民館との折衝	日向	表示掲出	前土肥、平井
舞台看板作成	前土肥、平井	講師接待(飲料)	小俣サ
会場設営計画	前土肥、平井	会場整理・誘導	
会場整理誘導表示作成	前土肥、平井	司会	
アンケート作成・集計	日向	マイク回し	
入会勧誘チラシ作成		記録・写真撮影	
発送用封筒用意	小俣サ	書籍販売	
		サイン会	
		アンケート箱・カンパ箱設置、呼びかけ	
		入会勧誘	

*チラシ配布態勢参考資料(2019年松井久子“不思議なクニの憲法”「宣伝活動」)

*発送作業: **狛江市内に限定するか?** (389人。うちEメール通信受信者48人)

2月1日(水)14:00～ 料理実習室

チラシ印刷は発送作業前に行う 13:00～ 団体活動室にて

④会計 現在残金＝約5万円(最近は会費を徴収していない。)

5. 今後の会議日程・集会日程など(当会関係を整理)

拡大世話人会 1月26日(木) 14:00~16:00 @市民センター 第2会議室

(今後の定例会日程を、1月より第3木曜日の午後にすることになっていたが、1月19日は空
きがなかった。)

(荒木さんは午後ならば曜日は条件なし。小俣マは第1、第3木・金曜日は不都合。

小俣サは火曜日午前が不都合。)

団体活動室の移動等

荷物の移動(団活室から第2会議室へ) 11月18日に実施

団活室の棚使用希望申し込み 12月2日(金)5時までに(→抽選は公民館側が実施 12月
13日(火)10時~@第4会議室→結果公示 12月16日(金)10時以降)

荷物の移動(第2会議室から団活室へ) 12月16日の世話人会のあとに実施。

済み *「こまえ九条の会」の棚が狭いので棚の変更を申請した。

館内掲示用「団体紹介」[申し込みはしない。]

6. 関連集会・行動の案内(当会として取り組むものは?) *上記「3. 全国的な活動」参照

◇第167回市民憲法講座 ~作られた「台湾有事」の構造~

お話:岡田 充さん (ジャーナリスト、元共同通信客員論説委員)

日本政府はロシアのウクライナ侵攻を機に、「台湾有事」をあおり「敵基地攻撃能力(反撃能力)」の保有、軍事費の倍増などを主張しています。そうした内容を盛り込んだ「防衛三文書」の改定も本格化させました。自民党の麻生副総裁は「台湾有事」が起きた場合、日本も戦争に巻き込まれるとの認識を示し、南西諸島ではミサイル基地などの強化が進められています。「台湾有事」とはいったい何なのか、軍事によらない平和をつくり出すためにどうすればよいのか、ともに考えたいと思います。

日時:12月24日(土)18:30開始 場所:文京区民センター2階A会議室

<https://goo.gl/maps/Td9nCJ52W9F2> 参加費:800円

主催◆許すな!憲法改悪・市民連絡会

◇院内集会 12月19日(月)17:00~ 参院議員会館1階講堂

半田滋さん「敵基地攻撃と日米一体化 防衛費倍増は国民負担に」